

<第15回 IS-LM分析、AD-AS分析の復習>

今回もIS-LM分析、AD-AS分析の他の問題をいくつか解いてみよう。

[練習問題]

1. ある国の経済が次のマクロモデルで表されるとする。

$$Y = C + I + G + EX - IM$$

$$C = 50 + 0.5YD$$

$$I = 200 - 1000r$$

$$T = 0.2Y$$

$$YD = Y - T$$

$$EX = 200$$

$$IM = 50 + 0.2Y$$

$$L = 0.4Y - 2000r$$

$$L = M$$

Y：国民所得， C：消費， I：投資，
 G：政府支出， EX：輸出(一定)，
 IM：輸入， YD：可処分所得，
 r：利子率， T：租税，
 L：貨幣需要量， M：貨幣供給量

このとき、新たに 50 の国債が市中引受方式で発行され、同額を政府支出充てた場合の国民所得の増加額はどれか。ただし、物価水準は考慮しないものとする。

- 1 : 50
- 2 : 60
- 3 : 70
- 4 : 80
- 5 : 90

(国税専門官 2002)

2. ある経済は、次のような経済モデルで表されるものとする。

$$C = 20 + 0.5(Y - T)$$

$$I = 70 - 5r$$

$$G = 40$$

$$T = 60$$

$$L = 0.4Y - 6r + 180$$

$$M = 360$$

$$Y_f = 300$$

C : 消費, I : 投資, G : 政府支出,
T : 租税収入, L : 実質貨幣需要量,
M : 名目マネーサプライ,
Y_f : 完全雇用 GDP 水準

このとき、古典派的なマクロ均衡点における物価水準Pはいくらか。

1 : 1.2

2 : 1.5

3 : 1.8

4 : 2.0

5 : 2.1

(国税専門官 2001)